

日本語教育機関名:スリー・エイチ日本語語学校		
項目	詳細	確認・評価
教育の理念・目標等	<p>1-1 教育理念</p> <p>スリー・エイチ日本語学校は、健康な体を持ち(Health)、社会に役立つ知識を備え(Head)、神と人を愛する心を持った(Heart)、バランスのとれた人材育成を目指す。(パンフレット p.2)</p>	A
	<p>1-2 設立目的</p> <p>スリー・エイチ日本語学校は、キリスト教の宣教師であった設立者が、若い外国の学生たちの将来の道を開きたいという、人材育成を目的に設立された。(パンフレット p.2)</p>	A
	<p>1-3 育成する目標人物像</p> <p>スリー・エイチ日本語学校は下記のような人物育成を目標としている。</p> <p>「世界で最も欠乏しているものは人物である。それは売買されない人、魂の奥底から真実で、正直な人、罪を罪とよぶのに恐れない人、磁石の針が南北を指示して変わらないように、良心が義務に忠実な人、天が落ちかかろうとも正しいことのために立つ人、・・・そういう人である。」 (E・G・ホワイト著「教育」福音社)</p>	A
	<p>1-4 理念、教育目標、育成する目標人物像が、教職員及び学生に周知されている。</p> <p>入学前の募集を始め、入学時オリエンテーション、各種ガイダンスなどを通して学生に周知されており、教職員オリエンテーションや毎日の朝礼や昼礼などで定期的に確認を行っている。</p>	A
学校運営	2-1 日本語学校の告知基準に適合している	A
	2-2 理念に沿った運営方針は定められているか	A
	2-3 理念に沿った授業計画が定められているか	A
	2-4 組織運営や人事、意思決定は確立されているか	A

教育活動	<p>3-1 カリキュラムは体系的に編成されているか。</p> <p>クラスは常に発話を意識して行い、「聞く→話す→読む→書く」という習得順で日本語を習得できるように、毎年度、カリキュラムを見直し、体系的に日本語を学べる体制を取っている。 コロナから抜け出し、フリートークも通常通りにすることができ、元々のカリキュラム通りに行うことができるようになった。</p>	A
	<p>3-2 成績評価や進級は適切に行われているか。</p> <p>本学では原則3ヶ月に一度の進級、落第制度を取っている。3ヶ月に一度の成績評価を各担任が提出し、教務主任、専任教員でそれを確認し、それを元にそれぞれの学生の各クラスへの進級・落第を決めている。</p>	B
	<p>3-3 教員の指導力向上のための取り組み、教育課程の改善の取り組みが行われているか。</p> <p>教育顧問、教務主任、校長、一部の専任教員がランダムに各教員のクラスに入りティーチングチェックを定期的にし、指導するようにしている。また各教員のクラス改善のため年度末に学生にアンケートを取り、授業評価をしている。さらに教員がいつでもお互いのクラスを自由に見学し、意見を交わすことができるようにしている。また新しい教員がクラスで教え始める前に、できるだけ多くの教員の授業を見学し、実習することにより、無理なくクラスを教えることができるように配慮している。</p>	A
	<p>3-4 目標に向けた授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか。</p> <p>教員採用に関しては、本学の理念・教育目標に賛同するとした者を校長と教務主任で面接をし、ティーチングオリエンテーション、ティーチング見学、ティーチング実習を経た上で、採用するものとしている。</p>	A
	<p>3-5 授業評価の実施・評価体制がある。</p> <p>本学では2015年度から、学生による各教員ごとの授業評価を行っており、必要に応じて教育顧問と教務主任がそれをもとに教員指導を行なっている。</p>	A
学修成果	<p>4-1 入学から終了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。</p>	A
	<p>4-2 生徒の日本語能力の向上が図られているか。</p> <p>毎日の学習内容について理解度確認を継続的に行い、学習内容の定着を図っている。その結果、日本語運用能力の向上が見られ、進学先からも高い評価を得ている。</p>	A

	<p>4-3 生徒の進路を適切に把握しているか。 担任、進路指導教員などが、協力して、進路指導を適切に行い。進学希望者全員が進学できた。</p>	A
学生支援	<p>5-1 日本社会を理解し、適応するための取り組みを行っている。</p> <p>入学時のオリエンテーション、入学後の各種ガイダンスを行なっている。また近隣高校2校と保育園とも交流を持ち、交わり学習を行った。</p>	A
	<p>5-2 学習相談や進路に対する支援体制が整備されている。</p> <p>本学では担任教員が可能な限り週に3回、担任クラスを受け持つようにし、随時学生の相談や進路に対する支援ができるようにしており、その他、専任教員が学生に対する進路面接などを行うことによって、進路支援を行っている。</p>	A
	<p>5-3 健康、衛生面での指導体制が整っている。</p> <p>入学時のオリエンテーション、入学後の健康ガイダンス、生活ガイダンス、また健康診断を通し、学生の健康、衛生面の指導を行っている。また看護師経験者をスタッフにおき、適時、必要に応じて、健康、衛生面の指導を行なっている。</p> <p>感染症対策をしっかりとっている。</p> <p>(体調不良の学生の検温、マスク、手指の消毒、学校全体の換気、消毒等)</p>	A
	<p>5-4 住居支援を行っている。</p> <p>希望者は寮に住むようにしている。</p>	A
	<p>5-5 防災や緊急時における体制が整備されている。</p> <p>地震や津波などの自然災害を考える時、今以上に防災訓練の回数を増やす必要がある。消防局に相談し訓練を行っているが、一層体系的に訓練ができるように努める。</p>	B

	5-6 入管法上の留意点について学生への伝達、指導を定期的に行っている。	A
教育環境	6-1 教室は十分な照度があり、換気がしっかりとされており、遮音がされている。	A
	6-2 授業時間以外に自習できる環境が整っている。	A
	6-3 法令上、必要な設備等を備えている。	A
	6-4 教材は適切である。 教材は本学の目標到達のために、適切であり、使用順序や方法も一定の効果をj得ている。	A
入学者の募集	7-1 教育内容を含む最新、かつ、正確な学校情報を開示している。これらを想定する入学志願者の理解できる言語で行うように努めている。	A
	7-2 入学者の選考に関し、学習能力、勉強意欲、経費思弁能力、日本語能力等について根拠資料で確認する等、適切な方法により確認している。	A
	7-3 入学者の選考は学校関係者が面接を行うよう努めている。	A
	7-4 入学検定料、入学金、授業料その他納付金の金額、納付方法、及び学費以外に入学後必要な費用を募集要項等に明記している。	A
	7-5 関係諸法令に基づいた学費返還に関する規定を定め公開している。	A
	7-6 上記 7-4 及び 7-5 については入学志願者、在籍者及びその経費支弁者の理解できる言語で情報公開に努めている。	A
財務	8-1 中長期的に財務基盤が安定している。	B
	8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものである。	A

	8-3 財務についての会計監査が適切に行われている。	A
	8-4 財務情報についての財務情報の公開の体制はできている。	A
法令遵守	9-1 各種関係法令等の遵守と適正な運営が行われている。	A
	9-2 個人情報保護のための対策がとられている。	A
	9-3 自己点検・自己評価の実施と改善及びその公開を適切に行っている。	B
	9-4 出入国管理局、その他関係官公庁への届け出、報告を遅滞なく行っている。	A
社会貢献	10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行なっているか。	A
	10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	B